

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 23 年 7 月 28 日 (2011.7.28)

【公表番号】特表 2010-532530 (P2010-532530A)
 【公表日】平成 22 年 10 月 7 日 (2010.10.7)
 【年通号数】公開・登録公報 2010-040
 【出願番号】特願 2010-514980 (P2010-514980)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 9/52 (2006.01)

G 0 6 F 12/00 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 9/46 4 7 2 Z

G 0 6 F 12/00 5 1 8 A

G 0 6 F 12/00 5 3 5 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成 23 年 6 月 9 日 (2011.6.9)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

トランザクションのメモリシステムと共に使用するためにトランザクションのグループ化機能を提供する ステップ であって、特定のグループの中のすべてのトランザクションが前記グループの外の何れのトランザクションによりアクセスされたデータとも重複しないデータにのみアクセスする場合に、前記トランザクションのグループ化機能が、トランザクショングループを生成することを コンピューターに可能にさせる (206) ステップをコンピューターに実行させるためのコンピューターで実行可能な命令を 格納 することを特徴とするコンピューターで読み取り可能な 記憶媒体。

【請求項 2】

前記トランザクショングループの少なくともいくつかに対して異なるロック機構を提供する (212) ステップをコンピューターに実行させるためのコンピューターで実行可能な命令をさらに 格納 することを特徴とする請求項 1 に記載のコンピューターで読み取り可能な 記憶媒体。

【請求項 3】

いくつかのロック機構がソフトウェアにより実施され、一方他のものがハードウェアを使用して実施されること (372) を特徴とする請求項 2 に記載のコンピューターで読み取り可能な 記憶媒体。

【請求項 4】

機能的にお互いに互換性のないロック機構を使用する (372) ステップをコンピューターに実行させるためのコンピューターで実行可能な命令をさらに 格納 することを特徴とする請求項 2 に記載のコンピューターで読み取り可能な 記憶媒体。

【請求項 5】

前記トランザクショングループの少なくともいくつかに対して異なるバージョン管理機構を提供する (212) ステップをコンピューターに実行させるためのコンピューターで実行可能な命令をさらに 格納 することを特徴とする請求項 1 に記載のコンピューターで読み取り可能な 記憶媒体。

【請求項 6】

いくつかのバージョン管理機構がハードウェアにより実施され、一方他のものがソフトウェアを使用して実施されること（372）を特徴とする請求項5に記載のコンピュータで読み取り可能な記憶媒体。

【請求項 7】

機能的にお互いに互換性のないバージョン管理機構を使用する（372）ステップをコンピュータに実行させるためのコンピュータで実行可能な命令をさらに格納することを特徴とする請求項5に記載のコンピュータで読み取り可能な記憶媒体。

【請求項 8】

前記トランザクショングループを使用する特化された競合管理を提供する（210）ステップをコンピュータに実行させるためのコンピュータで実行可能な命令をさらに格納することを特徴とする請求項1に記載のコンピュータで読み取り可能な記憶媒体。

【請求項 9】

トランザクショングループに命名することをコンピュータに可能にさせる命名機能を提供する（454）ステップをコンピュータに実行させるためのコンピュータで実行可能な命令をさらに格納することを特徴とする請求項1に記載のコンピュータで読み取り可能な記憶媒体。

【請求項 10】

前記命名機能は、デバッガーにおいて使用されること（456）を特徴とする請求項9に記載のコンピュータで読み取り可能な記憶媒体。

【請求項 11】

前記命名機能は、プロファイラーにおいて使用されること（456）を特徴とする請求項9に記載のコンピュータで読み取り可能な記憶媒体。

【請求項 12】

前記トランザクショングループの少なくともいくつかは、自動的に割り当てられること（294）を特徴とする請求項1に記載のコンピュータで読み取り可能な記憶媒体。

【請求項 13】

前記トランザクションのグループ化機能は、前記トランザクショングループがコンパイラによって自動的に識別されることを可能にするように動作すること（294）を特徴とする請求項12に記載のコンピュータで読み取り可能な記憶媒体。

【請求項 14】

前記トランザクションのグループ化機能は、前記トランザクショングループをランタイム環境によって自動的に識別することをコンピュータに可能にさせること（294）を特徴とする請求項12に記載のコンピュータで読み取り可能な記憶媒体。

【請求項 15】

前記トランザクションのグループ化機能は、前記プログラムの性能を改善すること（246）をコンピュータに可能にさせることを特徴とする請求項1に記載のコンピュータで読み取り可能な記憶媒体。

【請求項 16】

複数のトランザクショングループ（500）を生成するステップと、

前記トランザクショングループの第1のもの（500）の中のトランザクションを実行するためにハードウェアのトランザクションのメモリ実行機構を使用するステップと、

前記トランザクショングループの第2のもの（502）の中のトランザクションを実行するためにソフトウェアのトランザクションのメモリ実行機構を使用するステップとを備えることを特徴とする、コンピュータにより実行される異なるトランザクショングループと共に異なったロックおよびバージョン管理機構を使用するための方法。

【請求項 17】

コンピュータに請求項16に記載の前記ステップ（200）を実行させるためのコンピュータで実行可能な命令を格納することを特徴とするコンピュータで読み取り可能な記憶媒体。

【請求項 18】

トランザクションのメモリシステムの下で動作するプログラムにおいて他のすべてのトランザクションからとは重複しないデータにアクセスするトランザクションが、トランザクショングループと一緒にグループ化されることを可能にするトランザクションのグループ化機能を提供するステップ(244)と、

前記トランザクショングループを使用しない場合より前記プログラムの性能を高速にさせるために前記トランザクショングループを使用するステップ(246)とを備えることを特徴とする、コンピューターにより実行されるトランザクションのグループ化を支援するための方法。